# 会 議 録

| | |
|---|---|
| ■会 議 名 | 令和７年度倉敷市防災会議 |
| ■日　　時 | 令和８年２月１２日（木）13：00～15：00 |
| ■場　　所 | 倉敷市防災危機管理センター１５４会議室 |
| ■出 席 者 | ○委員 32 名、代理出席 14 名（欠席委員７名）<br>・伊東会長<br>・中村委員【代理：岡田氏】、小平委員【代理：末永氏】、<br>樋口委員【代理：安部氏】、端山委員【代理：山下氏】、<br>倉重委員【代理：宇野田氏】<br>・庄委員、蜂谷委員、安原委員<br>・松永委員【代理：戸田氏】、越智委員【代理：平松氏】、<br>三宅委員【代理：後藤氏】、松井委員【代理：高岩氏】<br>・生水委員、小松委員、尾崎委員<br>・仁科委員【代理：倉本氏】、加藤委員、池田委員<br>・岡委員、井上委員【代理：廣中氏】、古山委員、藤尾委員、武久委員、<br>和田委員、井田委員【代理：渡辺氏】<br>・秋岡委員、石井委員、水田委員、佐々木委員<br>・森川委員、荒木委員、渡辺委員【代理：伊東氏】、荒木委員【代理：松本氏】、<br>森定委員、岡野委員、藤井委員、武則委員、田野委員、兒山委員、大橋委員、<br>岡崎委員、田中委員、向谷委員、諏訪委員、小野委員<br><br>○事務局<br>防災危機管理室：大本参与、内田参事<br>危機管理課：三好課長、眞鍋課長代理、大村主幹<br>地域防災推進課：中川課長代理、三宅課長主幹<br>公園緑地課：西村課長代理<br>消防局警防課：平松主幹<br><br>○市職員 16 名<br>技監、企画財政局長、総務局長、総務局参与、市民局長、環境局長、<br>環境局参与、保健福祉局長、保健福祉局参与、保健福祉局参与（保健所長）、<br>文化産業局長、文化産業局参与、建設局長、生涯学習部次長、議会事務局長、<br>会計管理者 |
| ■傍 聴 者 | なし |
| ■報道機関 | ２社（山陽新聞社、玉島テレビ放送株式会社） |
| ■会長挨拶 | 今年度の防災会議は、新しく竣工した倉敷市防災危機管理センターにおいて行います。当センターは、柱頭免震構造を採用しており、２階以上に災害対策本部室やオペレーションルームなどを配置することで事業継続を強化しています。また、この庁舎には、防災危機管理室、水道局、消防局を置き、連絡通路で本庁舎ともつながっており一体的に活動できるようになっています。 |

| | |
|---|---|
| | 本日の会議では、今年度の市の取組について報告させていただき、市地域防災計画の改定について、皆様からのご意見等をいただいて、計画に反映させていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。 |
| **■議事** | （１） 報告事項<br>ア 災害、火災等及び訓練の概要について<br>イ 被災地に対する支援について<br>ウ 防災危機管理センターの竣工について<br>エ 小学校と地域が連携した訓練について<br>オ 災害時における協定の締結について<br>カ 個別避難計画の作成支援について<br>キ （仮称）柏島防災備蓄倉庫の整備について<br>ク くらしき防災フェア等について<br>ケ 自主防災組織の結成状況等について<br>コ 倉敷ふれあいの丘公園の開園について<br>（２） 審議事項<br>倉敷市地域防災計画の修正案について |
| **■質疑応答** | （諏訪委員）<br>倉敷市で研修等をしていただいていますが、先日の片田先生のお話も大変ありがたく、伝え方が大事だということがよく分かりました。防災士の会として、地域の方などを対象に講座を行ったりしていますが、これからの説明の仕方を改めて考えさせられました。こういった研修会をしていただけるととても助かります。<br>（秋岡委員）<br>個別避難計画の策定支援について質問です。2,705 名の対象者のうち、令和８年１月末現在の作成者が 1,720 名。ということは約 1,000 名の方がまだ未作成なのはなぜなのか教えてください。<br>また、今年度末までに 1,000 名の計画を作成するのは、もう難しいと思います。この作成期間を延長するのか、今後 1,000 名の方をどのように作成していくか教えてください。<br>（内田参事）<br>2,705 名が令和７年度の避難行動要支援者名簿登録者で、1,720 名の方が１月末までに作成済みです。その他の方については、長期入院あるいは施設入所等により居所不明になられた方、作成不同意という方もおり、合計で 496 名の方が作成ができない方となっております。<br>残りの 489 名につきましては、現在手分けをして訪問しており、年度内には全員訪問できる状況です。その 489 名の中にも施設入所の方などもいるので、２度３度訪問して粘り強くお話をさせていただいているところです。<br>この名簿については３年に１回更新されます。対象者についても毎年新たに登録される方もいます。この仕事は毎年毎年、新規対象者の方にアプローチして作っていくという作業が必要になります。 |

| | |
|---|---|
| | （秋岡委員）<br>　微力ではありますが、今後も個別避難計画作成等、協力させていただきたいと思います。<br>（伊東市長）<br>　一昨年の夏に南海トラフ臨時情報が出たときに、この個別避難計画の作成に対する市の取組方法を大きく変えました。国から求められているところは、一義的には地元の民生委員さんや自主防災組織の皆さんの力を借りて作っていくということになっていますが、まずは市の職員が、津波による浸水被害が大きいとされている沿岸部の区域の約 600 世帯を訪問しました。<br>　その後、市域全体に範囲を広め作成支援を行っており、訪問の際、施設に入所されているのか分からない方については、地元の民生委員さんに協力をいただき作成を進めているところです。<br>　内閣府の調べでは、全対象者を市の職員が訪問しているのは全国でも倉敷市だけで、内閣府のホームページでも紹介されました。市としては、まず市の職員が訪問して、民生委員さんや自主防災組織と情報を共有して、自分の担当区域の方たちの状況を把握しながら、実質的な個別避難計画にしていこうと思っております。皆さんのご協力も引き続きお願いできればと思います。<br>（大本参与）<br>　その他、皆様の方から何かございますでしょうか。<br>（末永国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所総括保全対策官）<br>　国土交通省では災害対策車両、排水ポンプ車、照明車、隊員の方が仮眠をとるための災害支援車などを保有しているので、地域防災計画に記載されていることの具体化を進めていただければと思います。<br>（大本参与）<br>　ありがとうございました。<br>　他に皆さんの方から何かございますでしょうか。 |
| **■審議** | 　それでは、お諮りさせていただきます。倉敷市地域防災計画の修正案につきまして、原案のとおり承認することにご異議はございませんか。<br>　異議なしと認めます。<br>　よって、倉敷市地域防災計画の修正案については承認されました。 |
| **■取組紹介** | （１）　防災気象情報の改善について<br>（２）　ＮＴＴ西日本（株）における災害対策の取組について<br>（３）　日本赤十字社が実施する防災教育事業　～赤十字防災セミナー～ |
| **■閉会** | 　最後に全体を通しまして、ご意見、ご質問はございますでしょうか。<br>　では、以上で本会議の審議事項は全て終了いたしました。ご協力ありがとうございました。 |